

バスケットボール

大会名称: 第73回国民体育大会 バスケットボール競技会
(福井しあわせ元気国体2018 バスケットボール競技会)

開催場所: 松岡中学校体育館 Bコート

試合区分: No. 7 少年女子 準々決勝

期 日: 2018(H30)年10月2日(火)

開始時間: 13:50

終了時間: 15:20



主審: 古畑 香子(茨城県)

副審: 中江 洋美(石川県)

宮崎 (九州)	○ 91	24 — 23 25 — 11 27 — 11 15 — 24 — — — —	● 69	秋田 (東北)
-------------------	----------------	---	----------------	-------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		河内 綾	0	0	0	0	0	1	0
5		財部 舞	0	0	0	0	1	0	0
6	*	成崎 結	13	1	4	2	1	1	1
7	*	ムボムボ ムロロ ファーロン	33	0	16	1	1	13	0
8		江藤 涼	0	0	0	0	0	0	0
9	*	ウォーカー ライアン 純	9	0	4	1	1	5	4
10		吉元 美百合	0	0	0	0	0	0	0
11		井ノ口 なな子	4	0	2	0	0	0	0
12	*	日高 千保理	4	0	2	0	0	2	6
13	*	フェスターガード ヤマ	11	1	4	0	0	4	7
14		老山 花歩	17	4	1	3	4	3	0
15		江頭 瑠梨	0	0	0	0	0	0	0
HC 前村 おかり / TEAM									
合計			91	6	33	7	8	29	18

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	高山 美瑠	6	0	3	0	1	4	1
5		目黒 歩子	10	2	2	0	0	0	2
6	*	齊藤 可伶	0	0	0	0	1	2	2
7	*	近藤 萌	15	1	6	0	3	9	0
8	*	安藤 千遥	11	1	4	0	2	0	5
9		小野寺 紅美	0	0	0	0	1	0	1
10	*	長谷川 美加	2	0	1	0	4	4	3
11		佐藤 ほのか	0	0	0	0	0	0	0
12		佐々木 琴子	4	0	2	0	1	0	0
13		浅利 千	21	3	6	0	0	0	0
14		坂本 麻陽	0	0	0	0	0	3	0
15		新林 未悠	-	-	-	-	-	-	-
HC 植渡 真 / TEAM									
合計			69	7	24	0	13	22	14

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、秋田県は、トラップを仕掛け、積極的なディフェンスでスタート。宮崎県も、オールコートから2-3ゾーンで対抗する。立ち上がり、秋田県は、#4の3Pと#7の2Pシュートで立て続けに得点。対する宮崎県は、#7のゴール下で応戦。徹底してインサイドを攻める。秋田県が、バスゲームでゾーンディフェンスを攻め、リズムの良いシュートで加点するが1点差で終わる。

第2ピリオド、両チーム譲らず。秋田県は、#13が攻守にわたり活躍するとともに、全員がリバウンドに絡み、宮崎県をリズムに乗せない。しかし、宮崎県は、#7の高さを生かし、ゴール下で落実に加し、拮抗した試合となる。中盤、#8のドライブインで、流れは宮崎県に。#14の加入でディフェンスも機動力が増し、#12のパスカットで一気に7点差に。秋田県もショットコーナーを起点に#7がシュートを決めるも10点差。34-49で前半を終了する。

第3ピリオド、お互いに前から仕掛け、ミスを誘うディフェンス。秋田県は、相手#7へのファールがかさむが、#7、#5が攻め続けて得点。宮崎県は、#14の3P、#7の連続得点で差を広げ、残り2分で19点差とする。さらに、#8のスティールで勢いは止まらず、76-45で終了。

第4ピリオド、秋田県は#13が効果的にシュートを決める。しかし、宮崎県も要所で#14が3Pを決める。最後までテンポの良い試合運びをした宮崎県が、81-69で勝利した。秋田県は、攻守ともに健闘したが、宮崎県の#7が試合を通してゴール下を支配したこと、#4の負傷交代が最後まで響いた試合となった。両チームの健闘を称えたい。

担当者: 林 厚子(一社)福井県バスケットボール協会

(公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

